

「2010年代のケーブルテレビの在り方に関する研究会」報告書 目次（案）

はじめに

1 現状認識

（1）放送を取り巻く環境

- ① 通信・放送の融合の加速
- ② 地上テレビジョン放送の2011年のデジタル化
- ③ 国の政策展開 等
 - ・ マスメディア集中排除原則の見直し等放送業界の規律の動向
 - ・ IP時代の競争政策等通信業界の規律の動向

（2）ケーブルテレビの現状

- ① 加入世帯数
- ② 経営状況 等

（3）ケーブルテレビの変化の潮流

- ① トリプルプレーサービス、クアッドプレーサービス
- ② 双方向性を活用した行政との連携強化
- ③ 事業者間連携、MSO 等

2 ケーブルテレビのあるべき姿に向けた課題と諸方策

（1）2010年代（2015年）のケーブルテレビのあるべき姿

- ① 2015年における我が国を取り巻く環境
- ② ケーブルテレビのあるべき姿
 - ・ 果たすべき役割
 - ・ 具体的な事業展開（サービス面、技術面、経営面等）

（2）2010年までの当面の課題と諸方策

- ① 課題
 - サービス面の課題
 - ・ 映像配信サービス（境界領域に関するサービス）
 - ・ インターネット等通信サービス（パブリックアクセスチャンネル等）
 - 技術面の課題
 - 経営面その他の課題
 - 制度面の課題
- ② 課題に対する諸方策（事業者、業界、国等がそれぞれの果たすべき諸方策）

3 まとめ（政策提言（2（2）②を踏まえ、国の政策として実施すべきものを整理。））

おわりに